

災害時情報発信に関わるヤフーとの連携について

2019年9月30日

北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、ヤフー株式会社（以下「Yahoo! JAPAN」）と大地震などの自然災害時における情報発信に関わる連携をいたします。

災害時に当社ホームページへのアクセスが集中し閲覧できなくなる事態を回避するため、Yahoo! JAPANの「キャッシュサイト」を活用し、被害情報や復旧に関する情報を継続的に発信いたします。「キャッシュサイト」とはヤフーサーバー上で当社ホームページをコピーしたウェブサイトで、キャッシュサイトをYahoo! JAPANの検索画面で掲載し、キャッシュサイトへ誘導することで、当社の正規ホームページへのアクセス負荷を軽減し、サーバーのシステムダウンを防ぎます。

当社は、災害時の情報発信の充実化に向けて、ホームページのサーバー強化、Facebook と Twitter を活用した情報発信を実施してまいりました。今後も災害時の情報発信の更なる充実化をはじめ、さまざまな災害時対応に取り組んでまいります。

<Yahoo! JAPAN サイトから検索を行った場合の表示イメージ>



以上

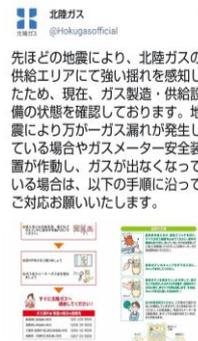
<お問い合わせ先>
北陸ガス株式会社
企画グループ 担当 本間
025-245-2214

<ご参考>

●災害時の情報発信の取組み例

①Twitter 開設（災害時のみ運用） <2019年4月>

災害時迅速に情報発信ができるよう情報拡散性が高いTwitterを新たに開設しました。2019年6月18日発生の山形県沖地震では、TwitterとFacebookからガスメーターの復帰方法等について投稿し、情報発信しました。



Twitter 投稿



Facebook 投稿

(地震発生から14分後)

②災害時ホームページの情報発信充実化 <2018年4月>

大規模な災害が発生した場合に必要な情報発信を行うための災害時用ホームページを平常時から準備しています。大規模災害が発生し、二次災害防止のためにやむを得ず、供給停止した場合における供給停止地区の地図表示、復旧作業の進捗状況等の情報発信を行えるようにしました。また、ガスの使用再開にはお客さまの立ち会いが必要になりますが、お客さまが不在の場合でも再度訪問する受付をホームページ上で行えるようになりました。



災害時用ホームページ

③休日夜間における災害時ページへの遠隔切り替えシステム導入 <2019年6月>

休日・夜間などで、当社のホームページ管理者が社外にいてもスマートフォンを使い遠隔で災害時用ホームページに切り替えを行うことができるシステムを導入しました。これにより災害時における情報発信がより迅速に行えるようになりました。2019年6月18日発生の山形県沖地震では、夜間の地震発生でしたが、地震発生から12分後に遠隔でホームページの切り替えを行い、情報発信しました。

④ホームページサーバー強化 <2019年5月>

災害時の当社ホームページへのアクセス集中に対応するために、ホームページサーバーの形態をクラウドサービスに変更し、サーバーを強化しました。

●その他災害時対応の取組み例

⑤食糧調達支援協力に関する協定を締結 <2016年1月>

当社の供給エリアで大規模な災害が発生した際、迅速なガスの復旧対応につなげるため、スターフェスティバル様（弁当宅配・ケータリングの総合モール「ごちクル」を運営）から食料品などの調達および配達の支援を受けることを内容とする協定を締結しました。

⑥レジリエンス機能が装備されたエネファームの拡販

災害時に役立つレジリエンス機能が装備されたエネファームの拡販に注力しています。 ※2019年8月に累計稼働台数2,000台を達成しました。詳細は別途プレスリリースをご参照ください。